

菊花香る文化の秋。

ですが今年は、文化祭も規模を縮小しての開催、恒例の秋フェスタも中止が決まっています。文化功労や産業功労のあった皆様を毎年表彰してきた行事ですが、次年度に延期させていただきます。今後はコロナと共生する社会として、こうした伝統的行事についても、継続して開催できる方法をよく検討したいと考えています。行事だけでなく、人口減少、少子高齢化、景気の後退、社会を覆う閉塞感など課題が山積しており、10月から来年度の事業計画や予算編成に向けての協議を始めています。あわせて村内の各団体の予算要望もお聞きしており、来年度以降は「ウィズコロナ」でコロナに負けない村政の舵取りが必要と考えています。

9月末に米寿を迎えられた方々と百歳を超えた方々の長寿のお祝いを行いました。

今年は米寿(八十八歳)が35名、百寿(百歳)が3名、百歳以上が3名、最高齢は102歳です。現役で農作業をこなしておられる方もあり、お祝いに伺ったこちらが元気を頂いてまいりました。いつまでもお健やかにと祈るばかりであります。

10月8日は第18回東白川村老人福祉大会が行われ、今年は役員功労者表彰20名、ダイヤモンド婚表彰7組の御夫妻、8020表彰5名の皆様が表彰を受けられました。表彰状をお渡ししながら、特にダイヤモンド婚表彰には感動いたしました。人には言えない苦勞と歓びの年月を重ねられ、正に艱難辛苦(かんなんしんく)を共にされたであろう60年です。お互いに健康でないと迎えられないダイヤモンド婚。本当に素晴らしいことだと感じました。

今年の米の収穫が終了しました。長雨と高温で作柄はやや不良とか。不安定な気象条件の下でもしっかりと米作りに励んでいただいた皆様に感謝しながら新米を頂ました。この美味しさを村外の皆様に届けたいと思い、村人会の皆様と、今までふるさと納税に御協力いただいた皆様に『東白川産新米パック』を贈りました。ふるさと納税のお裾分けですが、ふるさと納税のPRも兼ねております。ふるさと納税といえば、村内の肉牛生産組合と新世紀工房の協力で『東白川村育ち飛騨牛』10品目がふるさと納税のメニューに加わりました。

東白川村の素晴らしい自然環境の中で育った、逸品の飛騨牛を御賞味いただければ幸いです。

令和2年11月1日

東白川村長 今井俊郎